



会社概要

- 創業 1907年（設立 1972年）
- 従業員 1,672名（2024年8月期）
- 業績 売上高：500億700万円 経常利益：35億9,600万円（2024年8月期）
- 事業内容
 - ・蜂蜜等の蜂製品の販売、蜂・養蜂器具の販売、蜂製品に関する研究・開発
 - ・健康補助食品の商品提案から生産・出荷までの総合受託製造および研究・開発
 - ・医薬品の受託製造

事業紹介

養蜂

創業から続くアピの原点

110年以上の歴史を持つ当社において、養蜂は原点ともいべき事業です。私たちが育てるミツバチは、そのほとんどが施設園芸農家さんの作物受粉を目的としています。ミツバチを使って受粉させている作物はイチゴ、スイカ、メロン、リンゴ、ナス、キュウリ、ピーマン、カボチャなど数多くあります。ミツバチを通じて日本の食の安定に貢献をしたいと日々取り組んでいます。



健康食品

OEMのスペシャリスト

健康食品のOEMメーカーとして、お客様のニーズの更に先を行く商品提案をし品質のよい製品をお届けしようと日々努力を続けています。研究開発で得られる膨大なデータ、新規製造技術の構築と設計開発、あらゆる製品形状の製造を可能とする加工技術、徹底した品質管理など、総合力が当社の強みです。まだ世の中にはない商品を提案し、お客様と共に商品を生み、育てていきます。他社ブランドのため具体的な商品名は明かせませんが、テレビCMやドラッグストアで目にする商品も数多くあります。



医薬品

医薬品製造への挑戦

2005年、新たに池田医薬品工場を立ち上げ、医薬品事業へと本格的に参入。セファロsporin系・カルバペネム系抗生剤の受託専用工場として、様々な医薬品メーカーの抗生剤を受託製造しています。さらに、医薬用原薬の開発も行い、現在は保湿剤などの外用薬として使用される、ヘパリン類似物質の製造もしています。



UNIGEN バイオ医薬品の受託製造

2017年1月に(株)UNIGENをグループ会社化。次世代ワクチンをはじめとする、最先端のバイオ医薬品を細胞培養法を用いて製造しています。現在は、米国、欧州向けにインフルエンザワクチンの原薬を製造。UNIGENが持つ世界最先端の技術と設備は、世界中の保健衛生に貢献できる事業として期待されています。



講師紹介

アピ株式会社 医薬事業本部 バイオ開発部 製品開発室
長屋 優貴（ながや ゆうき）

[略歴]

- 2018年3月 岐阜大学大学院連合創薬医療情報研究科博士後期課程修了
- 2018年4月 アピ株式会社 入社
- 2018年6月 アピ株式会社 医薬事業本部 バイオ開発部 医薬品開発室
- 2020年9月 アピ株式会社 医薬事業本部 バイオ開発部 製品開発室

